

2009年度 環境活動レポート

(2009. 2月 ~ 2010. 1月)

2009年6月



《 目 次 》

1. 登録事業所の概要	…	P 1
2. 環境管理組織	…	P 2
3. 環 境 方 針	…	P 3
4. 環境への負荷実績	…	P 4 ~ P 5
5. 中期環境目標・計画表 (主要な環境活動計画の内容)	…	P 6
6. 環境活動の取組み計画と評価	…	P 7
7. 環境関連法規制等の順守状況	…	P 8

□登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

山根木材株式会社
代表取締役社長 山根 恒弘

(2) 創業 明治43年4月

(3) 所在地

〒734-8570 広島市南区出島1丁目21番15号

(4) 事業内容

- ・新築木造住宅の設計・施工・販売・リフォーム及び住宅引渡し後のメンテナンス
- ・木造住宅の材料となる木材の販売・加工・保管・運送
- ・保険業務

(5) 認定事項（平成20年6月現在）

- ・建設業許可 国土交通大臣許可(特-18)第10892号
- ・建設業許可 広島県知事許可(般-19)第34353号
- ・宅地建物取引業免許 国土交通大臣(9)第2711号
- ・一級建築士事務所登録 ①広島県知事登録06(1)第0213号
- ・一級建築士事務所登録 ②広島県知事登録07(1)第4386号
- ・一級建築士事務所登録 ③広島県知事登録08(1)第4442号
- ・広島県木材業者登録 広木連1・2種広第29号
- ・エコアクション21 認証登録 登録番号 0001671号

(6) 事業の規模

- ・資本金 100,000千円
- ・売上高 81億円(平成21年度)
- ・従業員 210名
- ・工場延べ床面積 7,330㎡

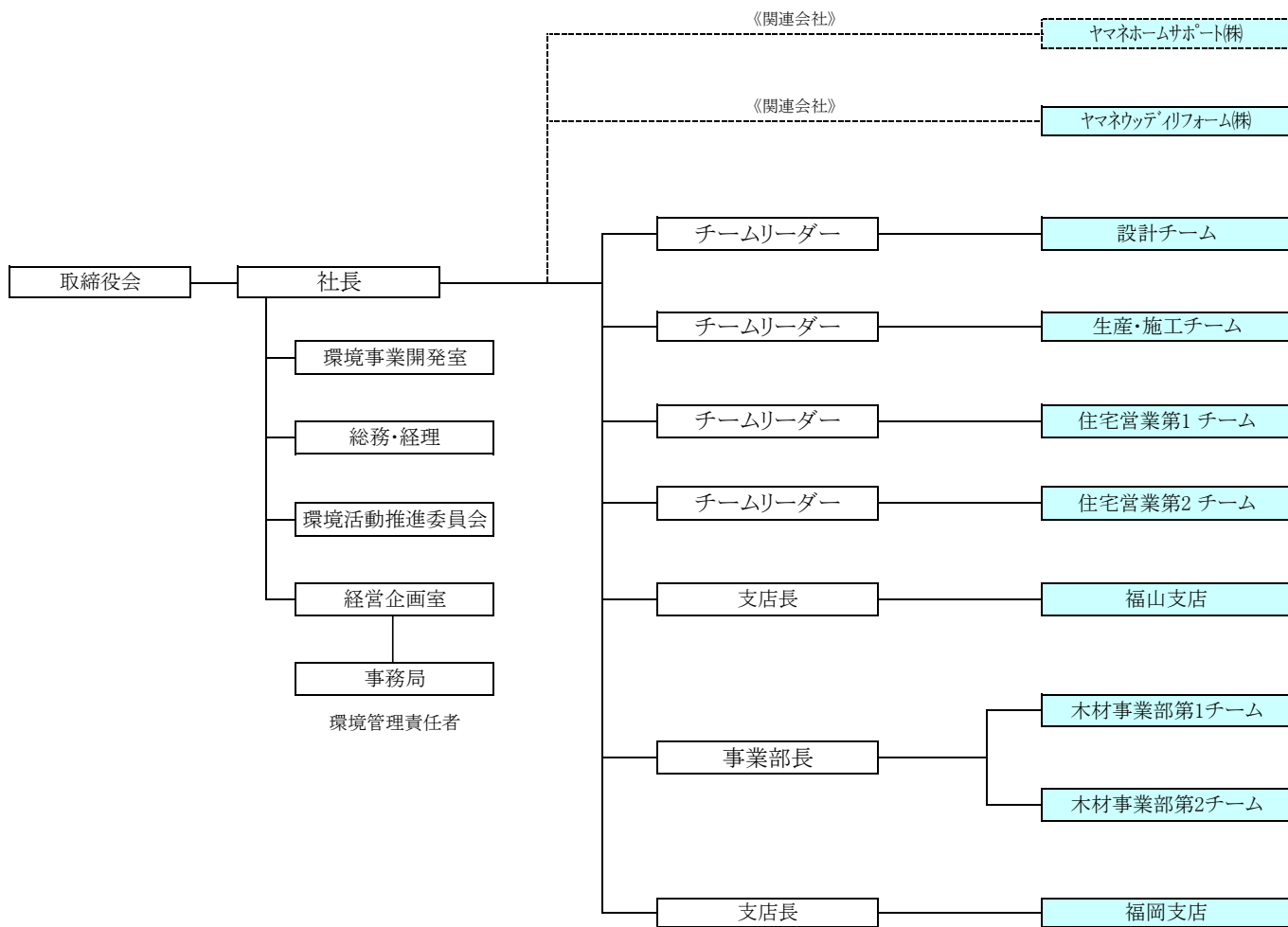
(7) 環境保全関係の責任者及び連絡先

責任者 経営企画室 次長 村上 知則

TEL. 082-254-3632

(8) 環境管理組織 「ea21環境管理組織図」 参照

平成21年度 山根木材株式会社『ea21』環境管理組織図



《 環境方針 》

『木の住まいの事業で 木の素晴らしさと

環境保護を提案し 未来と地域社会に貢献します』

1. 環境経営システムを構築・運用し、全員参加のもと次の環境保全活動を行います。
 - (1) 国産材・県産材の積極活用
 - (2) 省エネ・エコ設計提案の推進
 - (3) 現場近隣への強い気遣い・配慮
 - (4) 現場と工場の廃棄物削減、再利用
 - (5) 廃材の有効活用
 - (6) 「チームマイナス6%」の積極的推進
2. 環境関連法規制について、要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
3. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
4. 本環境方針は全従業員・関係会社・主要協力会社に周知させると共に、社外に公表します。

2009年2月1日

山根木材株式会社

代表取締役社長 山根 恒弘

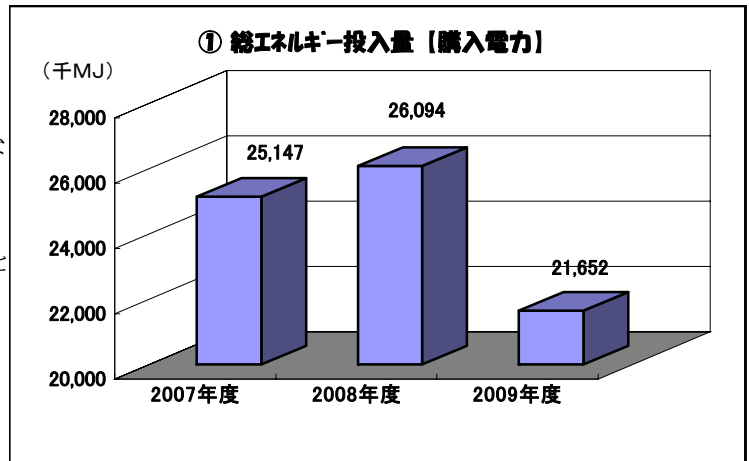
環境への負荷実績(年度推移)

環境への負荷実績

当社の事業活動が環境に負荷を与える項目として、総エネルギー投入量・水資源投入量・温室効果ガス排出量・廃棄物等排出量 があります。これら各項目の推移をみてみますと、平成21年度はいずれも前年度の実績を下回る結果となっております。グループとして環境活動取組への効果が少しずつ現れているものと思います。しかしながら、一方では厳しい経済状況の中で事業活動が制限されている影響も考えられます。環境経営システムが十分に機能するには、更なる工夫・努力が必要と考えます。

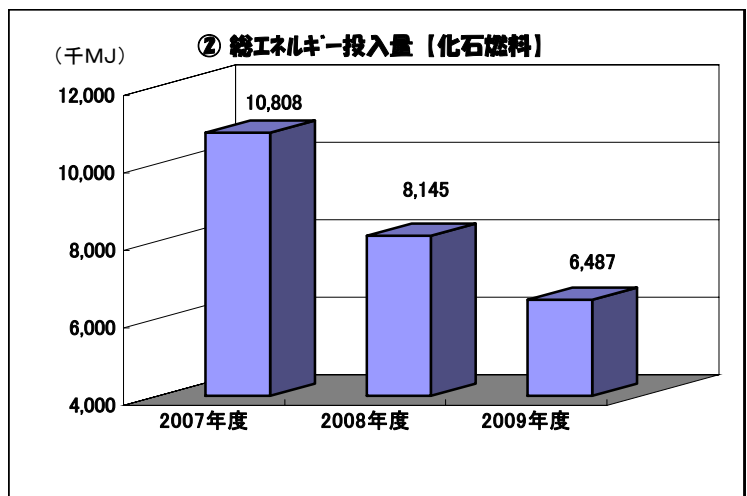
① 総エネルギー投入量【購入電力】

購入電力は、2008年度比で17%の減少となっております。エアコンの温度設定、照明器具のこまめな消灯等の効果もあったと思われます。一方で作業量(売上高)縮小の影響も大きかったと推測できます。省電力活動の継続を行なってゆきます。



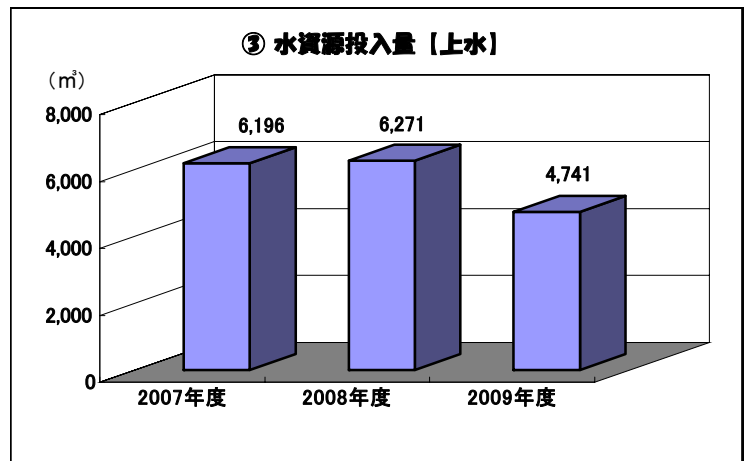
② 総エネルギー投入量【化石燃料】

化石燃料投入量は、2008年比で20%の減少となっております。エコドライブ推進等の環境活動に一定の効果があったと思われます。又 期中に組織改革を行い、事業所外で業務を実施する部門の人員配置に変更があったことの影響も大きかったと思われます。引続き 環境に配慮した車両の利用法と維持管理に努めます。



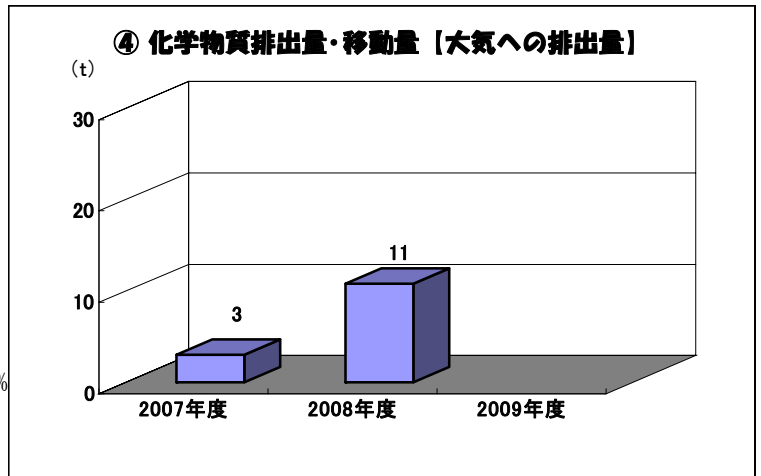
③ 水資源投入量【上水】

2009年度は、前年に比べ25%もの減少を達成しており大きな成果となっております。「節水シール」等の継続的節水意識の喚起が効果をあげたと思います。更に節水意識を定着させるための方策を継続してゆきます。



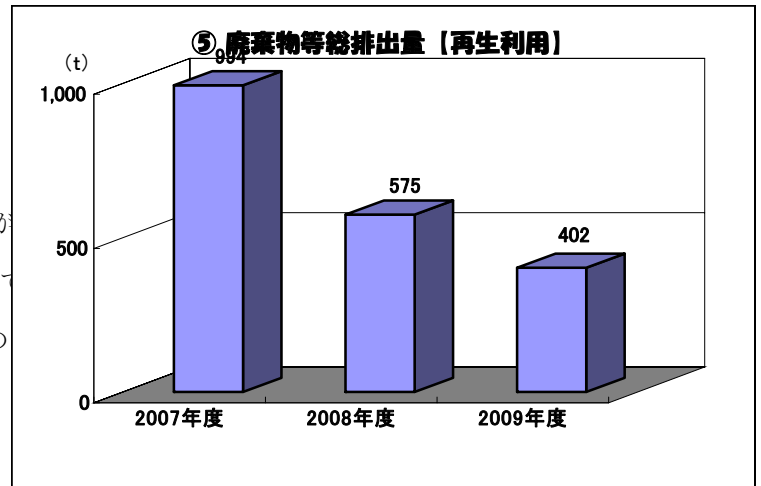
④ 化学物質排出量・移動量【大気への排出量】

2009年度は、木材加工工場の再編等が行われ焼却炉の数が3から1へ減少しました。このため、定期の科学物質排出量の計測が期中に実施できておりません。正確な排出量を把握して評価実施を行います。尚、木材加工量は大幅に減少しております。(30%



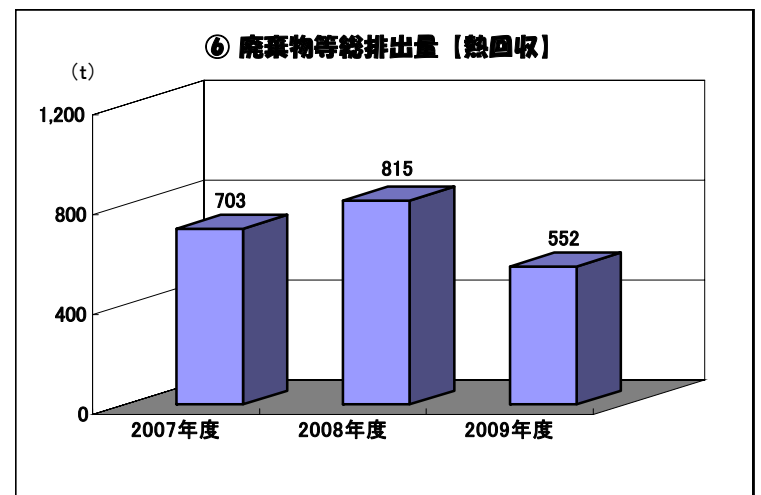
⑤ 廃棄物等総排出量【再生利用】

2009年度の排出量は、前年比 △30%と大幅に減少した結果となりました。特に、建設現場でのゴミ削減活動に大きな効果が現れており、前年と比較して172tもの減少となっております。又 建設現場における、ゴミ削減意識の定着もすすんでいるものと考えます。



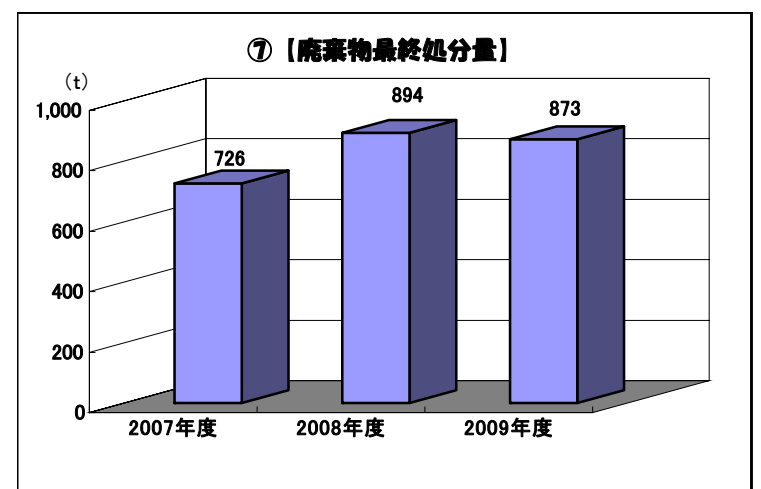
⑥ 廃棄物等排出量【熱回収】

2009年度は建設現場での木材再利用や下地材・羽柄材のプレカット化を推進し、現場での木くず削減に努めました。その結果として、現場発生木くずが263tの減少となりました。



⑦ 廃棄物最終処分量

廃棄物最終処分対象は、建設現場からのがれき類、ガラス・陶器および廃石膏ボードです。2009年度は微量ですが削減効果が表れました。2009年度は前年度と比べ2%の減少となりました。



項目	実施責任者	実施項目	H20年度実績 (基準年度)	区分	実施スケジュール		
					H21年度(計画)	H22年度(計画)	H23年度(計画)
					目標	目標	目標
省エネルギー	TL	・全社総電力の削減 (一般) 654,085(kwh) ・温度調節 (工場・現場) 2,003,544(kwh)	2,657,629(kwh)	目標	H20年度比(一般電力) △1%	H20年度比(一般電力) △3%	H20年度比(一般電力) △5%
				方針	不在箇所電気の消灯 ・不使用機器電源OFF ・ケルビス・ウォームビス継続 ・エアコンフィルターの定期清掃	・部室別使用電力の「見える化」検討 ・工場設備機器の効率化再点検 ・ケルビス・ウォームビス継続 ・エアコンフィルターの定期清掃	・部室別改善策の再検討・改善実施 (工場・オフィス) ・ケルビス・ウォームビス継続 ・エアコンフィルターの定期清掃
	TL	・ガソリン購入量の削減	169,978(ℓ)	目標	H20年度比 △3%	H20年度比 △5%	H20年度比 △8%
グリーン購入	TL	・エコ商品への購入切替	(H20・224品)	目標	購入品目数 20	購入品目数 100	購入品目数 150
省資源	TL	・全社総上水 使用量削減 (26ml/人)	6,271(m ³)	目標	H20年度比 △1%	H20年度比 △3%	H20年度比 △5%
				方針	・節約意識の向上(節水ラベル貼付) ・漏水試験の実施(1回/年)	・漏水試験の実施(1回/年) ・節約意識の向上・教育	・漏水試験の実施(1回/年) ・漏水試験の実施(1回/年) ・節約意識の向上・教育

【部門項目】

項目	担当部署 実施責任者	実施項目	H20年度実績 (基準年度)	区分	実施スケジュール			
					H21年度(計画)	H22年度(計画)	H23年度(計画)	
					目標	目標	目標	
廃棄物の排出抑制	生産・施工T	廃材大幅削減	3,136 m ²	目標	H20年度比 △5%	H20年度比 △10%	H20年度比 △15%	
				方針	「廃材大幅削減」 ・木下地PC化の推進継続 ・廃棄物リサイクルの推進継続 ・梱包材の削減	・内部造作材プレカットの検討 既製材の地下地PC ・梱包材の削減 業者持ち帰り検討(納入計画) ・床養生材の変更(ビニール養生中止)	・内部造作材プレカット全棟実施 既製材の地下地PC ・ジャストインタイムでの納入実施	
		YWR	廃材の削減	1,065 m ²	方針	・工事現場における排出物の分別回収 ・建設資材への代替 ・廃棄物リサイクルの推進	・使える既存木材の再利用 ・梱包材のメーカー処分 ・再利用可能な養生材の使用	・土壁の再利用 ・屋根材の再利用
		福山支店	現場廃棄物の内 木くず、紙くずの 削減	782 m ²	方針	・野縁のPC化(11月開始) ・工事現場における排出物の分別回収 ・梱包材(ダンボール)リサイクルの実施	・外壁パネル化 ・工事現場における排出物の分別回収 ・廃棄物(木材)の再利用	・屋根パネル化 ・工事現場における排出物の分別回収 ・廃棄物(木材)の再利用
	YHS	不具合による 廃材の削減	6.5 m ²	方針	・廃材(木材・建材)の削減(再発防止案の提出)	・水漏れによる廃材の削減	・不具合調査に伴う廃材の消滅	
工場	木材	金物工法推進 購入寸法変更	H20年度 13.3t	目標	平成20年度比 △1%	平成20年度比 △3%	平成20年度比 △5%	
				方針	・柱材 2.8M購入(WW) ・野地合板の端材利用(端材減少)	・金物工法推進 10% (切くずの減少) ・野地合板の端材利用(端材減少)	・金物工法推進 20% (切くずの減少) ・野地合板の端材利用(端材減少)	
	木材	端材活用	H20年度 26.6t 41.3t 6.3t	目標	平成20年度比 +1%	平成20年度比 +3%	平成20年度比 +5%	
省エネ・エコ設計 提案の推進	設計T	エコ商品の 採用提案	H20年度 0件	目標	エコ商品の採用提案 2品目	エコ商品の採用提案 10品目	エコ商品の採用提案 15品目	
	住宅営業T	広島県産材使用 の拡大	(基準データ無し)	目標	提案住宅の販売 30件	提案住宅の販売 30件	提案住宅の販売 30件	
	福岡支店	太陽光発電パネル の積極採用	(基準データ無し)	目標	発電パネル採用 10%	発電パネル採用 15%	発電パネル採用 20%	
	YWR	新提案の推進	H20年度 0件	目標	新提案3品目(項目)	新提案3品目(項目)	新提案3品目(項目)	
近隣環境配慮	生産・施工T	着工前 「仮設計画」 全棟実施	H20年 近隣クレームゼロ	目標	近隣クレーム「0」	近隣クレーム「0」	近隣クレーム「0」	
				方針	着工前「仮設計画」全棟実施 ・近隣への配慮(継続) ・アプローチマット設置と敷地養生 ・主要工程の通知 (現場掲示や文面に告知)	・現場近隣の清掃活動(月1回全棟実施) ・近隣へ新築計画通知(現場掲示)の検討 ・主要工程の通知(現場掲示)の検討 ・アプローチマットの設置	・近隣へ新築計画通知(現場掲示)の実施 ・主要工程の通知(現場掲示)の実施	
	YWR	工事の告知	H20年 近隣クレームゼロ	方針	・本社(社屋)近隣の清掃活動 ・土砂流出防止対策 ・防塵機能付き道具の使用 ・作業時間の決定 ・マンションリフォームの工程通知	・現場近隣の清掃活動(週1回) ・プレカットの推進による騒音、塵の軽減 ・遮音シートの活用 ・駐車場の確保 ・工期短縮	・現場近隣の清掃活動(毎日) ・近隣への工事計画通知(現場掲示)実施 ・防塵施工の確立	
	福岡支店	・販売用宅地の 維持管理徹底	H20年 近隣クレームゼロ	方針	・夏場の草刈実施 ・土留め等による土砂流出防止 ・販売促進物の美観維持	・夏場の草刈実施 ・土留め等による土砂流出防止 ・販売促進物の美観維持	・夏場の草刈実施 ・土留め等による土砂流出防止 ・販売促進物の美観維持	
	YHS	騒音・異臭 発生防止 清掃	H20年 近隣クレームゼロ	方針	・支店廻りの清掃活動 ・運搬車両のアイドリングストップ	・現場前面道路の清掃活動の推進 ・現場仮設トイレの水洗トイレ化	・現場前面道路の清掃活動の恒常化 ・現場仮設トイレの水洗トイレ化	

項目	実施項目	H20年度実績 (基準年度)	H21年度目標		運用期間実績	評価	評価(結果と今後の方向)
			運用期間	運用期間目標値			
1 省電力	・全社総電力の削減	654,085(kwh) 《一般電力》	H20年度比(一般電力) △1%		H20年度比 △17.3%	○	目標達成しています。省エネ意識が定着していると思われます。継続して省エネ活動に取組む必要があると思います。
			H20.2~H21.1	△6,540kwh			
2 省燃料	・ガソリン購入量削減	169,978(ℓ)	H20年度比 △3%		H20年度比△5.5%	○	目標達成です。社内改革等の影響が大きいのと思われます。更に、「エコ運転」等の効果が徐々に現れた結果と考えます。「エコ運転」を継続し
			H20.2~H21.1	△5,099ℓ			
3 グリーン購入	・エコ商品への購入切替	15品目 事務用品	購入品目数 20		20品目	○	目標達成です。しかしながらエコ商品採用意識の定着は不十分と見受けられます。購入窓口統合等の検討が必要です。
			H20.2~H21.1	20品目			
4 コミ排出量削減	・コピー用紙購入量削減	2,275,000枚 (A4換算)	H20年度比 △5%		H20年度比△2.3%	×	目標未達です。ペーパーレス運動により多少の削減効果はあります。しかしながら、新たな業務等の実態に合った目標設定が必要です。
			H20.2~H21.1	△113,750枚			
5 節水	・全社総上水使用量削減	6,271(m³) (漏水補正值)	H20年度比 △1%		H20年度比△24.4%	○	目標を達成しております。社員の節水意識が定着してきたものと思われます。継続して節水意識高揚に努めます。
			H20.2~H21.1	△62.7m³			

【部門項目】

項目 部門	実施項目	H20年度実績 (基準年度)	H21年度(目標)		運用期間 (実績)	評価	評価(結果と今後の方向)
1 廃棄物の排出抑制							
【生産・施工T】	廃材大幅削減	3,136 m³	H20年度比 △5%		H20年度比△32.5%	○	目標達成です。下地材 羽柄材のプレカット化推進で木くずの発生を大幅に抑えることができた結果と考えます。
			H20.2~H21.1	△157 m³			
【YWR】	廃材の削減	1,065 m³	H20年度比 △5%		H20年度比△0%	×	目標未達です。廃材削減について、細やかなリフォーム現場監理が必要と思われます。
			H20.2~H21.1	△53 m³			
【福山支店】	現場廃棄物の木屑・紙屑削減	782 m³	H20年度比 △5%		H20年度比△31%	○	目標達成です。建築現場を綺麗に維持する支店の事業目標が効果をあげたと思われます。
			H20.2~H21.1	△39 m³			
【YHS】	不具合による廃材の削減	6.5 m³	H20年度比 △5%		H20年度比173.8%	×	目標未達です。廃材削減について、細やかなメンテナンスの現場監理が必要と思われます。
			H20.2~H21.1	△0.3 m³			
【木材】	工場の廃棄物削減	13.3t	金物工法推進(切くずの減少)		(達成率)105.9%	○	目標達成です。新しい工法で販売採用に時間が掛かりましたが、一定の成果が現れました。
			H20.2~H21.1	13.5t			
	5.4t	野地合板端材活用		(達成率)70.9%	×	目標未達ですが、端材の有効活用は、廃材の発生を抑制する効果があると思います。継続して取組む必要があると考えます。	
		H20.2~H21.1	5.5t				3.9t
	26.6t	桁材活用		(達成率)85.1%	×	目標を達成しておりませんが、廃材活用で一定の効果があつたものと考えます。	
		H20.2~H21.1	26.9t				22.9t
	41.3t	ペニヤ端材活用		(達成率)70.8%	×	目標を達成しておりませんが、廃材活用で一定の効果があつたものと考えます。	
		H20.2~H21.1	41.8t				29.6t
	6.3t	針葉樹合板下地材活用		(達成率)42.2%	×	目標を達成しておりませんが、廃材活用で一定の効果があつたものと考えます。	
		H20.2~H21.1	6.4t				2.7t
2 省エネルギー							
【設計T】	エコ商品の採用提案	0件	エコ商品の採用提案		(達成率)100%	○	目標達成です。設計段階からの省エネ提案が重要です。目標の見直し検討が必要と思います。
			H20.2~H21.1	2品目			
【住宅営業T】	広島県産材使用の拡大	(基準データ無し)	MOKUキューブの家を販売する		(達成率)26.6%	×	目標未達です。提案項目について部署として情報と提案方法の共有化が不足していたと思われます。今後の改善が必要と考えます。
			H20.2~H21.1	30件			
	0棟	次世代省エネ金物工法提案		(達成率)0%	×	目標未達です。提案の実績が無く部署として情報の共有化に問題があつたと思われます。今後の改善が必要と考えます。	
		H20.2~H21.1	21件				0件
【福岡支店】	太陽光発電パネルの積極採用	(基準データ無し)	太陽光発電パネルの採用率 10%		(達成率)22.2%	○	目標達成です。太陽光発電へ注目が集まっており、継続して取組む必要があると思います。
			H20.2~H21.1	採用 10%			
【YWR】	新提案の推進	3品目	新提案(項目)		(達成率)50%	×	目標未達です。提案の実績が殆ど無く部署として情報の共有化に問題があつたと思われます。今後の改善が必要と考えます。
			H20.2~H21.1	2品目			
3 近隣環境配慮							
【生産・施工T】	着工前「仮設計画」全棟実施	部分実施	近隣クレーム「0」		3件	×	近隣クレームの発生がありました。近隣への気遣いは事業継続の必須なので、再発防止に努めます。
			H20.2~H21.1	0			
【YWR】	工事の告知	営業挨拶回り 工事中看板掲示	近隣クレーム「0」		1件	×	近隣クレームの発生がありました。近隣への気遣いは事業継続の必須なので、再発防止に努めます。
			H20.2~H21.1	0			
【福岡支店】	・販売用宅地の維持管理徹底	クレーム 0	近隣クレーム「0」		2件	×	近隣クレームの発生がありました。近隣への気遣いは事業継続の必須なので、再発防止に努めます。
			H20.2~H21.1	0			
【福山支店】	騒音・異臭発生防止 清掃	部分実施	近隣クレーム「0」		0	○	クレーム発生はありませんでした。近隣への気遣いは重要なので内容の検証にも慎重に取組みます。
			H20.2~H21.1	0			
【YHS】	近隣対策実施	クレーム 0	近隣クレーム「0」		0	○	クレーム発生はありませんでした。近隣への気遣いは重要なので内容の検証にも慎重に取組みます。
			H20.2~H21.1	0			

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

特に重要な適用法規制	適用される施設等
振動規制法	廿日市工場
騒音規制法	廿日市工場
特定化学物質の環境への排出量の把握	廃棄物焼却炉
ダイオキシン類対策特別措置法	廃棄物焼却炉
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法	PCB保管
浄化槽法	木造住宅工事現場
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	建築物解体工事
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物

当社の事業活動に関連する環境法規 及び 消防法 又 その他の法令等につきまして違反はございません。

関係当局からの指摘 及び 利害関係者からの 訴訟や苦情も過去3年間 ございません。